

小林市総合計画等審議会
答申書

令和7年8月19日

小林市長 宮原 義久 様

小林市総合計画等審議会
会長 倉田 富夫

総合計画及び総合戦略に係る評価及び推進について（答申）

当審議会では、令和7年7月24日付け企第274号で諮問を受けた下記事項について、小林市まちづくり基本条例における行政評価に関する規定（第13条第2項）に基づき、慎重に審議いたしました。

つきましては、貴市の評価に対し、審議会の意見を別紙のとおり取りまとめましたので答申いたします。

今回の評価結果が、各計画の推進に着実に反映されますよう、強く要望いたします。

記

- 1 第2次小林市総合計画後期基本計画の評価及び推進
- 2 第2期でなんど小林総合戦略の評価及び推進

（経過）

- ・令和7年7月24日 第2回小林市総合計画等審議会（諮問、審議）
- ・令和7年8月6日 第3回小林市総合計画等審議会（評価）

別紙

にぎわい分野

1－（1）農林水産業を振興します

- ・ 担い手の確保について、就農相談会等で農家が輝く魅力ある職業であることを引き続きアピールするとともに、今後は、山村留学を通じて更なる農業の魅力を発信してほしい。
- ・ 農地の集積について、農家のニーズに合った農地の紹介や案内を行ってほしい。
- ・ 農林業を活用した教育の推進について、みどりの少年団活動による森林教育や水田での稲作体験など将来を見据えたこどもたちへの教育を引き続き実施してほしい。
- ・ 農家への支援について、担い手を育成するためには中長期的な支援が必要である。スマート農業やデジタルを活用したマッチング制度を利用し、引き続き担い手育成への支援を行ってほしい。

1－（2）畜産業を振興します

- ・ 和牛の販売力の強化について、農家の所得向上のため、1頭当たりの販売単価を上げる取組や農家への売り方指南、和牛の輸出に関する情報提供を行ってほしい。
- ・ 肉用牛の振興について、肉の価格は市場の動向に左右されやすいため、自給飼料の増産や生産力の強化に注力するとともに、バイオマスや蓄電池等の施策とリンクさせることで、価格の安定化を目指してほしい。

1 – (3) 商工業を振興します

- ・ 強い企業を目指すために、DX化やオートメーション化による効率化を図っている企業に対して支援を行ってほしい。
- ・ ビジネス支援センターによる新規及び継続の会員への支援は今後も必要である。引き続きビジネス支援センターに対する支援や連携を継続してほしい。

1 – (4) 観光産業を振興します

- ・ スポーツを活用した観光は、経済効果が大きいことから、スポーツチームの合宿誘致やスポーツの全国大会を誘致してほしい。また、小林市に合ったスポーツに焦点を当てた誘致を行ってほしい。
- ・ 宿泊施設の整備について、宿泊施設の不足が観光における最大のネックとなっている。空き家をリフォームするなど空き家対策と絡めて、宿泊施設として利用できないか。また、宿泊施設の不足については、個人ではなく、皆で意見を出し合う必要がある。
- ・ 小林市の知名度向上について、小林市独自の分野を再構築してほしい。
- ・ 観光地への移動手段について、小林市には郊外に魅力的な観光地があるため、観光シーズンには臨時バスを運行させるなどの対応を行ってほしい。また、宿泊事業者と連携した送迎なども検討してほしい。
- ・ 観光の推進について、えびの市及び高原町を含めた2市1町で広域的に取り組むことが必要である。
- ・ インバウンド需要の取り込みについて、簡易宿泊所の設置や外国人旅行者に対して、旅行後も小林市の特産品を購入できる仕組みを検討してほしい。

1－（5）戦略的なプロモーションを推進します

- ・ ふるさと納税制度の促進について、県内の自治体ではコンサルタント事業者を入れて成功した例がある。返礼品の見せ方や返礼品選定の検討などにコンサルタント事業者の活用も必要ではないか。
- ・ ふるさと納税制度の返礼品について、小林市の魅力を知ってもらえるような体験型の返礼品を増やしてはどうか。
- ・ メディアを活用したプロモーションについて、引き続き小林市出身者を活用し、全国的なメディア等で市の魅力を発信してほしい。
- ・ 効果的な広報PRについて、若者にとってSNSが重要なツールとなっていることから、安定したWi-Fi環境を維持してほしい。

いきいき分野

2 – (1) 市民福祉の充実を図ります

- ・ 自立支援機関登録者の支援終結割合について、一人でも多くの生活困窮者が終結に向かうよう、各種支援の充実を図ってほしい。

2 – (2) 高齢者を支援します

- ・ 地域での高齢者の見守り体制について、高齢者を支援する人が減ってきてている中で、地域全体で支える体制づくりの検討が必要である。
- ・ 在宅高齢者訪問等調査員について、調査員の高齢化が進んでいるので、調査員の確保に努めてほしい。

2 – (3) 健康づくりを支援します

- ・ 感染症予防の推進について、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染者数がいまだに多い現状を踏まえ、引き続き感染症予防に向けた取組を行ってほしい。
- ・ ゲートキーパーについて、養成講座の案内などを見かける機会が増え、周知が図られていると感じる。ゲートキーパーがそれぞれの地域で活躍できるよう支援を行ってほしい。

2 – (4) 子ども・子育てを支援します

- ・ 放課後児童クラブについて、地域によって利用できない状況があるため、子育て支援の充実を図ってほしい。

- ・ こども家庭センターへの相談について、支援が必要な家庭を早急に把握できるよう、引き続き周知を図ってほしい。
- ・ 子どもの貧困問題について、引き続きこども食堂やフードパントリ一等の充実を図ってほしい。

2－（5）地域医療の体制の確保に取り組みます

- ・ 看護学生の地域就職者数について、今後も生徒数が減っていくことが予想されるため、学費支援制度等の周知を図り、看護学生が卒業後も地域に残る体制づくりを検討してほしい。
- ・ 出産に対するサポート体制について、産婦人科がなく出産に対して不安を抱える市民がいるため、出産・出生後の支援の充実を図ってほしい。
- ・ 市立病院の常勤医師の確保について、要請活動等により医師数が増えていることから、引き続き関係機関と連携を図り、常勤医師の確保に努めてほしい。

まなび分野

3 – (1) 学校教育を充実します

- ・ 児童生徒の不登校について、不登校率が増えている現状があることから、複雑化・複合化している不登校の要因について、きめ細かな対応が必要である。
- ・ 特別支援教育について、児童生徒一人ひとりの実態に応じた支援が行えるよう、引き続き適正な特別支援教育支援員の配置をお願いしたい。
- ・ 学校から保護者への周知について、直前の周知で対応に困る場面もあることから、早めの周知に努めてほしい。
- ・ 学校施設の老朽化について、児童生徒が安心・安全に学校生活が送れるよう、統廃合を含め学校の在り方の実態に応じた施設の整備を推進してほしい。

3 – (2) 生涯学習を推進し、文化・芸術を振興します

- ・ P T Aについて、保護者の数も少なく、同じ人に負担がかかっている状況もあることから、役員体制等の見直しを検討してほしい。
- ・ 文化会館におけるイベントについて、自主事業を含め各種イベントの周知を図ってほしい。

3 – (3) スポーツ・体づくりを推進します

- ・ 学校給食における地産地消について、食材の物価高や天候不良による収穫量の減少等で地産地消率は減少しているが、引き続き地元の食材を使用し、地産地消に取り組んでほしい。

くらし分野

4 – (1) 防災力・災害対応力を高めます

- ・ 災害ボランティアコーディネーターの育成について、引き続き災害ボランティアコーディネーターの登録者を増やす取組や市民に活動内容の周知を行ってほしい。

4 – (2) 安心・安全で安定した給水を確保します

- ・ 水道管の老朽化について、老朽管更新の対応を計画的かつ具体的に、優先順位を決めて進めてほしい。

4 – (3) 良好な住環境の整備を推進します

- ・ 木造住宅の耐震化の普及について、耐震診断を知らない人が多いと感じる。対象者は高齢者が多いため、区長からの声かけや地域での声かけなど高齢者向けの発信の仕方を工夫してほしい。
- ・ 空き家対策の推進について、空き家になってからではなく、空き家になる前においても対策が必要ではないか。

4 – (4) 生活基盤を整備します

- ・ 危険箇所の点検について、定期的なものだけではなく、臨時的に対応すべきところは、早急に対応してほしい。
- ・ 通学路の点検について、大人だけでなくこどもも一緒に点検を行い、子どもの目線で安全確認を行ってほしい。また、まちづくり協議会のまち歩きイベント等と絡めた点検や安全教育を行うことで、まちづくりにもつながるのではないか。

- ・ 街路灯について、小林地区も野尻地区のように主要道路に街路灯を設置してほしい。
- ・ 生活道路の整備について、歩道の段差解消に努めるとともに、道路の整備及び補修に関しては、これまで同様、優先順位をつけて計画的に維持管理を行ってほしい。

4－（5）自然環境・生活環境を保全します

- ・ リサイクル収集について、各区の自主防災組織が地域を巡回し、リサイクル品を回収することで、財源の確保や安否確認ができるのではないか。

4－（6）地域生活交通の確保を図ります

- ・ （再掲）観光地への移動手段について、小林市には郊外に魅力的な観光地があるため、観光シーズンには臨時バスを運行させるなどの対応を行ってほしい。また、宿泊事業者と連携した送迎なども検討してほしい。

4－（7）市民の人権意識を高めます

- ・ 多様性社会の実現について、女性が参画しやすいように審議会等の委員募集の際は、男女の割合を同じにして募集してほしい。

4－（8）国際化・多文化共生を推進します

- ・ こどもを対象にしたイベントの周知方法について、チラシなどの紙媒体に加え、SNSを利用した周知方法が保護者に届きやすい。

計画の実現に向けて

5 – (1) 効率的かつ効果的な行政経営を行います

- ・ 中山間地域への支援について、引き続き中山間地域の振興を図る取組を行ってほしい。
- ・ ふるさと納税制度による寄附額について、目標に達していない状況を踏まえ、関係機関と連携し、PR強化や新商品開発等の取組を進めてほしい。

5 – (2) 市民参画による協働のまちづくりを推進します

- ・ 自治会への加入について、加入率が減少傾向にあることから、未加入者への対応を検討し、加入率向上に努めてほしい。
- ・ 区長について、充て職や人選依頼など負担が多いので、依頼業務の見直しを行うなど負担軽減に努めてほしい。

5 – (3) デジタル化を推進します

- ・ 行政手続のオンライン化について、各種行政手續が便利になるよう、引き続き推進してほしい。

5 – (4) 公共施設等のマネジメントを推進します。

- ・ 公共施設のマネジメントについて、各施設の計画に沿って計画的なマネジメントを推進してほしい。

第2期てなんど小林総合戦略

1 第2期てなんど小林総合戦略

- ・ 数値目標及びKPIについて、目標を達成していないものは社会情勢の変化も踏まえ、引き続き事業を推進してほしい。

2 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

- ・ 第2期てなんど小林総合戦略のKPI達成に「有効であった」。